

よくあるしつもんコーナー (Q&A)

Q 消防車や救急車を呼ぶときはなぜ119番なの？

A 昔の電話機はダイヤルを回していたため、一刻（いっこく）も早く呼ぶために、ダイヤル時間の短い112番を使用していましたが、間違いが多かったため、当時あまり使われていなかった9を使用することになり、現在の119番となりました。

Q 消防自動車はなぜ赤いの？

A 日本の法律（ほうりつ）で消防自動車は、朱色（しゅいろ）と決まっています。朱色（しゅいろ）は赤色にすごく似（に）た色です。昔、日本に初めて消防車が外国から輸入（ゆにゅう）されたとき、その消防車の色が赤色だったからとか、炎（ほのお）の色に似（に）ているとか、目立つ色という説（せつ）もあります。

Q 救急車はなぜ白いの？

A 日本の法律（ほうりつ）で救急車は白と決まっています。また白はお医者さんや看護師（かんごし）さんの白衣（はくい）と同じ色で清潔（せいけつ）なイメージともいわれています。

Q なぜ救急車が消防署にあるの？

A むかしは警察が、交通事故でケガをした人を運ぶため、救急車を運用していました。しかし火事場でも多くの負傷者（ふしょうしゃ）が出ることから消防署がもっとも救急車の運用（うんよう）に効果的（こうかてき）であるとみなされて、昭和38年（1963年）正式（せいしき）に各消防本部が『救急業務（きゅうきゅうぎょうむ）』をおこなうよう消防法（しょうぼうほう）でできまりました。

Q 消防署はいくつあって、消防官は何人なの？

A 羽島市には、羽島消防署、羽島消防署北分署、羽島消防署南分署の1署2分署があります。

羽島市の消防職員の定員（ていいん）は88名です。

Q 何時から何時まで働くの？

A 朝8時30分から夕方5時15分まで働く毎日勤務者（毎日勤務者）と、朝8時15分から次の日の朝8時35分までの24時間20分働く隔日勤務者（かくじつきんむしゃ）がいます。またその隔日勤務者を2組に分けて一日ずつ交代で仕事をしています。

Q 休みの日はゆっくり休めるの？

A 隔日勤務を行った次の日は非番（ひばん）と言い、次の仕事に備え休養します。しかし、建物火災などがあり招集（しょうしゅう）がかかると、家にいるときでも消防署へ行きます。

Q 消防車や救急車は何台あるの？

A 【本 署】

消防ポンプ車 2台・救助工作（きゅうじょこうさく）車 1台・照明（しょうめい）車 1台・化学消防車 1台・資器材搬送（しきざいはんそう）車 1台・指揮車2台・救急車 3台

【北分署】

水槽付消防車 1台・救急車 1台

【南分署】

水槽付消防車 1台・救急車 1台・広報車 1台

【合 計】 16台です。

Q 消防車には何人乗れるの？

A 消防車の種類によって違いがありますが5～6人乗りです。

Q 火事がないときは何をしているの？

A 火事・救急・救助に備（そな）えてさまざまな訓練を行っています。また、火事を予防するために、枯草（かれくさ）の調査、ひとりで暮（く）らしているお年寄りの家へ訪問（ほうもん）して火事の危険がないかの防火診断（ぼうかしんだん）、工場や病院などの防火指導（ぼうかしどう）をしています。その他にも、救命講習（きゅうめいこうしゅう）や消防訓練の指導や消火栓の点検などたくさん仕事があります。

Q 火事の時、消防車は何台出動するの？

A 火事の大きさや種類によっても異なりますが、普通の建物火災ですと消防車4～5台で出動します。

状況によって、火事現場から消防車やケガ人がでた時には救急車を要請する場合があります。

Q 消火に使う水は、どこから用意するの？

A タンク車には1, 500リットルの水が積載（せきさい）してあるので、その水を消火に使用し、消火栓（しょうかせん）や、貯水槽（ちよすいそう）、また池や川などからもタンク車やポンプ車で水を補給（ほきゅう）します。

Q 消防用ホースの長さや重さはどれくらいなの？

A 消防用ホースには、太さが50mm、65mmの2種類のホースがあります。1本のホースの長さは20mで、重さは65mmのホースで約8kg、水が入った状態だと約70kg～80kg、50mmのホースでは約5kgで水が入った状態だと約40kg～50kgにもなります。

Q 防火服の重さはどれくらいなの？

A 防火服自体は約6.5kgですが、その他に各個人の装備（そうび）もいれると、7kg以上になります。

Q どうして消防官になろうと思ったの？

A 人それぞれいろいろな思いがあって消防官になったと思いますが『人の命を救いたい、大切な人を守りたい』とか『人の役に立つ仕事がしたい』と思っている人は多いと思います。

Q 早く出動するためにどんな工夫をしているの？

A 防火衣がすぐ着装（ちゃくそう）できるように準備がしてあります。また早く出動できるように訓練もしています。

Q 火事の原因で多いのは何なの？

A 毎年上位（じょうい）をしめるのは、放火・コンロ・配線器具・ストーブ・たき火です。しかしこれらは、人が原因（げんいん）で出火するものです。ですからひとりひとりが注意すれば火事が防（ふせ）げるものもあります。例えば燃えやすいものは家のまわりに置かない。火をつかう料理ではコンロのそばをはなれない。寝たばこやたばこのポイ捨てはしない。などのことに注意して生活していくことが火事をおこさないことにつながります。

Q 女の人でも消防官になれるの？

A なれます。羽島市ではまだいませんが、他の消防本部には女性の消防官がいるところもあります。

Q みんなに気をつけてほしいことは何ですか？

A ライターやマッチなどで火遊びは絶対しないこと。火事を見つけたら大人の人に助けを求めること。119番などいたずら電話をしないことです。また、学校にいるときに地震や火事などが起きたときは、先生の言うことをよく聞いて避難してください。